

# -特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

## 令和5年度 通常総会議事録

1. 日 時：令和5年5月27(土) 10時30分～11時25分
2. 会 場：サプリ村野南館 2階 環境保全研修室
3. 正会員数：78名
4. 正会員出席者数： 57 名  
(本人出席 15名、委任状出席 27名、議決権行使書出席 15名)  
参考：会場出席者数 19名(正会員 15名。賛助会員 1名、オブザーバー3名)

### 5. 議案

- 第1号議案 2022年度事業報告書案承認の件
- 第2号議案 2022年度活動計算書案承認の件
- 第3号議案 2023年度事業計画書案承認の件
- 第4号議案 2023年度活動予算書案承認の件

### 6. 経過及び結果

#### 【決議結果】

予定していた第1号議案から第4号議案については、満場一致で承認された。緊急動議として出された「役員選任に関する件」についても満場一致で承認された。

なお、議案の経過及び主な質疑・応答については以下の通り。

#### 【議事記録】

- (1) 事務局が本日の通常総会は定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。
- (2) 司会の末岡氏が議長に豊高氏を推薦し、満場一致をもって選任された。
- (3) 議長が、議事録作成人に事務局、議事録署名人に藤原秀昭氏および赤井誠次氏を指名した。
- (4) 第1号議案「2022年度事業報告書案承認の件」及び第2号議案「2022年度活動計算書案承認の件」  
理事会は上記議案を上程した。各議案について丸井事務局長が内容についての説明をし、その後、中塚監事より監査報告が行われた。次に議長が質問や意見を伺い、下のような意見がでた。その後、議長が第1号議案、第2号議案についてそれぞれ承認をうかがったところ全員異議なく、原案どおり承認可決した。

<質問・意見>

藤原：収支バランスが悪いという事で、見直しを行っていかねばならないという事だが、具体的な方針についてお聞きしたい。また会員拡大も大きな課題だという事だが、その点について、会員拡大に向けての政策もお聞きしたい。

井上：これといった即効性のある政策はないが、各事業の収支を見直し無駄がないか洗いだし作業を地道に行っていく予定である。また会員拡大についてはいつも言っていることだが、あらゆる機会をとらえ、声掛けをする中で会員拡大へとつなげていきたいと考えている。

藤原：会計報告で環境教育部会の出前授業の謝礼金収入について報告があったが、補足説明をする。謝礼金は、さだ西小学校のエコクラブの活動で環境出前授業を行った年間の謝礼金である。

末岡：環境ネットワーク会議は「やりたい活動をやっていく」「やりたいという意味を持っている方の集まりの団体」であると思っているので、効率や絞り込みということは考えにくいですが、支出面の無駄の見直しを必要だ。

(5) 第 3 号議案「2023 年度活動計画書案承認の件」及び第 4 号議案「2023 年度活動予算書案承認の件」

理事会は上記議案を上程した。各議案について丸井事務局長が説明をした。次に議長が質問や意見を伺い、下のような意見がでた。その後、議長が第 3 号議案、第 4 号議案についてそれぞれ承認をうかがったところ全員異議なく承認可決した。

<質問・意見>

森：事業報告のところでも出されていた会員を増やすという事だが、部会間の交流もあまりなく、会員相互の交流もあまりないという状況も影響していると思う。会員を含め、もっと多くの市民に環境ネットワークのこと、活動のことを知ってもらえるようにすべきだ。また、活動の中で物品販売もしてはどうかと思う。

藤原：若い人も会員になって参加してもらえる活動にすることや、色々も行っている環境活動が外部からも共感してもらえるような PR も大切と感じている。

丸井：もっともな意見だ。コロナ禍でたくさんの方が集まるという機会が失われていたことも影響していると思うが、何とかもっと多くの市民に環境ネットワークのこと、活動のことを知ってもらえるように努めたい。そのための具体的な方法としてどのようなことがあるか、みなさんも考えてアイデアを出していただきたい。家族連れが参加できる環境活動も計画している。また PR 手段の費用対効果もあるので、どれだけのことをやれば良いか難しい課題である。施設内での物品販売は基本的に行えない。

末岡：環境教育は、環境ネットワーク会議にとっての根幹事業である。市としてその

ことをしっかりと認識し、人材育成という事できちんと予算付けをしていただきたい。

柳谷:そのことは認識している。直接的に人材育成としての予算付けはしていないが、本来なら環境ネットワーク会議の事務所費が発生しているところ、無料で事務所を構えられているという事で、目に見える形ではないが環境ネットワーク会議の事務所費を負担していることになり、間接的に予算を付けさせてもらっている。

兼瀬:枚方市としても環境ネットワーク会議と連携・協働して進めていくのは勿論だ。またできるだけの支援もしていくが、環境ネットワーク会議としても自助努力をしていただきたい。

- (6) 議長が予定されていた議事が終了した旨を述べ、緊急を要する議案がないかを諮ったところ、丸井理事から下記「役員承認に関する議案」を緊急議案として上程したいとの申し出があり、議長が全員に諮ったところ全員異議無く緊急議案の上程を可決した。上程の可決を受け、議案について丸井事務局長から説明があった後、議長が質問や意見を伺ったところ質問・意見もなく、議長が全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

<「役員承認に関する議案」について>

枚方市の人事異動で柳谷武志氏が環境部次長に、環境政策課課長に伊賀新太郎氏が着任されたことを受け、柳谷武志氏の後任として監事に伊賀新太郎氏を上程するものである

- (7) 議長は、他緊急を要する議案がない事を確認し、以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した（午前 11 時 25 分）。

上記の議事の要領および結果を明確にするために、理事長及び議長ならびに議事録署名人 2 名が次に記名押印する。

令和 5 年 5 月 27 日

理 事 長 井上 浩一 ⑩

議 長 豊高 勝 ⑩

議事録署名人 赤井 誠次 ⑩

議事録署名人 藤原 秀昭 ⑩